
B-EN-GがSAS Institute Japanから 「Best Pioneer Award」を受賞

ビジネスエンジニアリング株式会社(東京都千代田区、取締役社長:羽田 雅一、以下「B-EN-G」)は、SAS Institute Japan株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:手島 主税、以下「SAS」)が主催するSASパートナー総会にて発表の「SAS Partner Award」において、「Best Pioneer Award」を受賞したことをお知らせいたします。

■「SAS Partner Award」について

SAS Partner Awardは、SASのビジネスに大きな功績を残したパートナーに授与される賞です。本アワードでは、SASソリューションビジネスにおける実績、優れた導入プロジェクト、SASのAI技術などを活用したイノベーティブな案件提供などさまざまな観点からSASビジネスに大きな功績を残したパートナーを表彰する制度です。

■「Best Pioneer Award」受賞の理由

「Best Pioneer Award」は、SASにとって新規顧客および新規エリア、業種の開拓に貢献したパートナーに授与されます。

B-EN-Gは、自社開発の「mcframe RAKU-PAD[※]」を導入されたお客様に対し、SASの自然言語解析ソリューション「SAS[®] Visual Text Analytics」を用い、蓄積された文章データの解析を実施し、課題を明確化しました。この度の受賞はこの活動が高く評価されたものです。

■B-EN-GのDX支援とSASソリューションへの取り組み

B-EN-Gは、20年以上にわたり、ERP(基幹業務システム)、MES(製造実行管理システム)、LIMS(品質試験管理システム)、SCM計画系システムなどの導入サービス、また、各種IoT製品のご提供、それらのデータを集めて必要な時に必要な形でデータを活用するための基盤を構築する「データエンジニアリング」サービスを提供して参りました(図:ビジネスエンジニアリングのソリューション事業分野の歩み 参照)。

2020年4月には、蓄積されたデータや様々な外部データを組み合わせ有効活用し、新たな価値創造に活かしたい、というお客様のニーズにお応えするため、目的に即したデータをハンドリングし統計学、機械学習、AIなどで洞察を導く「データサイエンス」を担う専門組織「DcXビジネス推進部(Data-centric-Transformation)」を立ち上げ、同年8月にはSASとパートナーシップ契約を締結いたしました。

この度の受賞対象プロジェクトのほか、SASソリューションを用い、販売予測の精度向上、製造技術の向上、製造品質の安定化、オペレーションの安全確保などのテーマへの取り組み実績がございます。

DcX支援サービスについては下記をご参照下さい。

<https://www.b-en-g.co.jp/solution/bigdata/dcx.html>

※mcframe RAKU-PAD:iPadを用い、記録、蓄積、分析までをカバーする現場向けソフトウェア

■ビジネスエンジニアリング株式会社(B-EN-G)について

ビジネスエンジニアリングは、1990年代初頭に日本で初めてSAP ERPの導入を手掛けて以来、製造業を中心としたお客様のデジタル変革をITで支援しています。IT企画からシステムの構築、導入、運用にわたるコンサルティングおよび支援サービス、ならびに自社開発のパッケージソフトウェア「mcframe」の販売、導入で豊富な実績を有しています。また、基幹業務システム(ERP)やサプライチェーン(SCM)、IoT等で蓄積されたデータを活用して、システムの高度化やカイゼン活動をお手伝いしています。中国(上海)、タイ(バンコク)、シンガポール、インドネシア(ジャカルタ)、アメリカ(シカゴ)の5ヶ所に海外子会社を有し、海外進出企業に対しても、日本と現地でよりそいながら製品やサービスを提供し、お客様の経営課題を解決しています。

ビジネスエンジニアリング株式会社の詳細は <https://www.b-en-g.co.jp/> をご覧ください。

【当報道に関してのお問い合わせ窓口】

ビジネスエンジニアリング株式会社 経営統括本部 広報グループ

電話:03-3510-1619 / E-mail:kouhou@b-en-g.co.jp

【当サービスに関してのお問い合わせ窓口】

ビジネスエンジニアリング株式会社 ソリューション事業本部 営業本部

電話:03-3510-1622 / E-mail:solution-info@b-en-g.co.jp

*本ニュースリリースに記載されている社名、製品名などは、各社の登録商標または商標です。

図:ビジネスエンジニアリングのソリューション事業分野の歩み(抜粋)

